



何かを創り出す楽しみ

生まれ育った場所が、熊本と宮崎の県境にある小さな村でした。自然に囲まれて育ちました。父が彫刻や仏画を趣味でやっていた影響で、私も何かを作ったり描くことが好きでした。特に「筋肉」というテーマに強く惹かれました。

高校は、自宅から片道1時間はかかるので寮生活でした。高校では美術をやリたかったので、寮生活をしながら高校の近くの絵画教室に3年間通わせてもらいました。

彫刻の街に惹かれ、富山へ

筋肉の絵は中学までに数えきれないくらい描きました。高校からは、立体で筋肉を作りたいという強い思いがありました。塑像の技術を高め、理想の作品を作れるようになりたいと思いました。富山には井波彫刻があるため、技術を向上したいと思う私にはぴったりだと思い、富山大学芸術文化学部の進学を決めました。

「好き」ととことん向き合える幸せ

大学に入るまでは「筋肉が好き」と口に出すことに抵抗がありました。芸術文化学部では、学生も先生方も「いいじゃん」「それは君の個性だよ」と受け入れてくれます。今は、「筋肉を可愛く描く・創る」ということをテーマに制作を続けています。

大学で始めた柔道で全国2位に

大学に入り、新しいことを始めたいと思いました。武道に関心があり、兄がやっていた柔道に挑戦することにしました。何百回も投げられて心が折れるときもありましたが、今では黒帯を締めています。入部して1年経った頃に出場した2024年度全日本学生柔道形競技大会で、2位に入賞することができました。次の目標は形ではなく、実践の大会で経験者を投げることです。

大学で見つけた新たな夢

入学当初は、塑像や彫刻の技術を磨き、仏像の修復士になりたいと思っていました。大学で始めた柔道をきっかけに、白バイ警官に憧れるようになりました。柔道に取り組む人は警官志望の人が多く、情報が多いためお話を聞くうちに憧れるようになりました。大学3年生から警察が主催している学生安全ボランティアに参加し、社会貢献と進路の情報収集を行っています。大学4年間の集大成になる理想の筋肉の作品を作り、やり切ってから社会に出たいと考えています。警官になっても、時間を見つけて制作は続けたいです。



お世話になった高校の先生へ

美術をもっと学びたいという大まかな目標しか決まっていなかったが、学ぶ動機や将来の目標など、鮮明に見えるまで何度も相談させていただきました。おかげで大学入学後、チャレンジしたいことが明確で効率よく取り組みました。受験時、時に厳しくもあたたかく見守りながらご指導いただき、本当にありがとうございました。